



21.10.17 聖日-RT

サタン誘惑

イスラエル滅亡史  
福音×霊的な力×実力× = わざわい

「レムナントがあらかじめ整えること」 Iサム 16:13

序- RT 7 「知っていること」	本	結 (光)
1. 創 41:38	1. 私 -セッティング	創 1:3
2. 出 3:18-20	2. 上のこと セッティング	イザ 60:1-2
3. Iサム 3:1-19	3. 隠されたこと セッティング	Iペテ 2:9
4. 16:13	1) 創 1:27 2) 創 2:7 3) ヘブ 4:12	空前絶後
5. II列 2:9-11	1) 御座 2) 時空 3) 237	1) 詩 78:70-72 2) Iサム 16:23 3) Iサム 17:1-47
6. イザ 6:1-12, 13		
7. 使 1:8		

### Iサム 16:13

13 サムエルは油の角を取り、兄弟たちの真ん中で彼に油をそそいだ。主の霊がその日以来、ダビデの上に激しく下った。サムエルは立ち上がってラマへ帰った。

### 要約

サタンの誘惑 → **イスラエル滅亡史** → わざわいが臨む  
福音を分からない霊的な力がなくて実力がない

△聖書にだけイスラエルがなぜ滅亡したのかその歴史をそのまま記録している。イスラエルは福音がなかったり、福音を知っているのに、味わうことができなかった。福音を味わうことができないというのは福音がないということ。そして、霊的な力もなく、実力もなく文化に遅れた。結局、エジプト、ペリシテ、アッシリヤ、アラム、バビロン、ローマに続けてやられ、イスラエルを滅亡させたすべての国々はその後に全部滅びた。歴史と聖書でわざわいは神様を離れて、すなわち、サタンの誘惑を受けて来るようになったのだ。このとき、福音を回復した Remnant 通して、神様は働きを起こされた。Remnant は、勉強もしなければならないが、あらかじめ整えるべきことがある。Iサム 16:13 この日以来!自分に与えられた神様の契約を握った以来!正確に契約握れば、このことが! (Iサム 16:13)

### 口序論\_ RT 7人(知ること)

1. 創 41:38 ヨセフが契約を握った日から主の霊が宿る。今から Remnant が整えなければならないことがこれ。必ずこの時間を持ちなさい。一番重要なのが、これが一番必要だね!と知ることが重要
2. 出 3:18-20 モーセは年を取ってホレブ山で霊的体験した後から始まり
3. Iサム 3:1-19 サムエルが一度この力を体験して、彼のことは一言も地に落とされなかった
4. Iサム 16:13 ダビデのように RT の時に一度だけ整えてもかまわないのだ。
5. II列 2:9-11 多くの神学生たちが他のことを好むとき、エリシャはそれは必要ないと話した。ただ「霊の二つの分け

前をください」と祈った。

6. イザ 6:1-12 御座の力の祝福を受けて 13 節の RT を話した。

7. 使 1:8 他のことを心配せずに、ただ聖霊を受ければ力を受けるようになる。

△RT のとき、これを少しだけ整えれば良い。これがすべてであるからだ。これを持って定刻祈り、深い祈り、常時祈りもしてみなさい。定刻祈りをすれば、祈りが幸せになる。幸せな深い祈りを味わえば、すべての現場を置いて常時祈りを味わうようになる。このとき、24、25、永遠の答えが来るようになる。

□本論\_この日以来、三つのことが起こるようになる

1. 私ーセッティング(私の中にあることがセッティングされる)

1) 創 1:27 セッティング神のかたちが植えられた

2) 創 2:7 いのちの息を吹き込まれた。

3) ヘブ 4:12 神様のみことばが私の霊、たましい、骨髄を生かすようになる。

△3 団体は霊的なことを知らないから、自分の中にある潜在力、無意識を開発させろと言うのだ。

私たちは私たちの中に神様がくださった、ものすごい生命力がある。

2. 上のことセッティング

1) 御座ー御座が働くようになる。

2) 時空ー時空が関係なく働かれる。

3) 237ー私のタラントが 237 と合うようになる。このとき、成功するようになる。

3. 隠されたことセッティング(空前絶後ー誰も奪っていくことができないこと)

1) 詩 78:70-72 羊飼いをするのに空前絶後の答えがくるようになる。

2) I サム 16:23 王宮に入って空前絶後の答えがくる。賛美をするのに悪霊が離れる。

3) I サム 17:1-47 お使いに行き、ゴリヤテに勝つようになる。このときから、ダビデの世界的な人生が始まる。

□結論\_光(暗やみに光を照らさなければならない)

1. 創 1:3 創造の光、これなくてはならない。

2. イザ 60:1-2 創造の栄光の光、主の栄光があなたの上に輝いている!

3. I ペテ 2:9 生かす征服者の光

△苦勞する大人たち、宗教家を生かさなければならない。RT が信じれば、世界生かすほど答えが来るようになっていく。

△RT の今週ミッションー人生を記録しなさい。一週間に 1 回、または、毎日、聖日だけでも大丈夫だ。礼拝しながら神様が私にくださる心と確信、考えを記録しなさい。

1. 本部メッセージ、講壇メッセージと私が合う日がくる。このときから私がセッティングされる。

2. 現場に行ってみれば御座、時空、237 の答えが来ているようになって

3. みことばと祈りを少し味わったが、空前絶後の答えが来るが、これをもって職業をするようになる。

## 全文打ち出し翻訳

私の説教を聞けば、地獄に行く人が聞けば、とても怒りが出るでしょう。なぜかという、救われていない人が聞けば自分を悪く言うように聞こえるからです。また、霊的問題を持つ人が聞けば、とても気分が悪いです。なぜでしょうか。その部分を話すから。そして、時々その教会に通う人の中で福音をよく知らずにいる人が多いです。このような専門家も説教を聞けばちょっと嫌がります。なぜなら、自らの弱点が刺激されるから。

## イスラエルの滅亡史

ところで聖書を詳しく見れば、これを説明しています。なぜでしょうか。滅びるなと書いたのです。他の宗教の本は見ればおもしろく、何かを作っています。それが、もう間違ったことです。

聖書は、イスラエルの歴史をそのまま記録しました。アブラハムをどのように編集した、ではなく、アブラハムが良くやったこと、間違ったことを、無条件にみな記録しておきました。事実どおりに、記録しました。

ところで、聖書を見れば、イスラエルがエジプトで、ペリシテ、アッシリヤ、アラム、バビロン、ローマ、続けてやられたことが出てきます。それとともに、神様が説明されることがあります。どんなに聞きたくなくても、聖書のみこと

ばをよく見なければなりません。

### 福音 X、霊的な力 X、実力 X

なぜこのようになったのでしょうか。実際の福音を分からなかったり、味わうことができななかったり、二つのうちの一つです。福音を分かるのに味わうことができななかったり。それでは、福音ではないのです。そして、それゆえ霊的な力がないのです。これが今、イスラエルでした。また、実力もなくて。実力がないから、文化に遅れます。それゆえ、国を生かして世界福音化する Remnant をそこに引っ張られて行ったのです。ところで、さらに重要なことは、イスラエルが滅亡したのですが、イスラエルを滅亡させた国々は、その後にもみな滅びたのです。

### わざわざ

それなら、歴史と聖書全部がわざわざの話です。そこで、このわざわざがなぜきたのかということ聖書は明らかにしているのです。なぜでしょうか。神様を離れたためです。

### サタン誘惑

言い訳すべきことではないのですが、言い訳をすれば、サタンの誘惑を受けたからです。サタンの誤りではありません。サタンの誘惑を受けたということです。ですから、このようになるしかありません。それゆえ、イスラエルが度々滅びるのです。強大国のために滅びました。強大国は後ほど滅びて。

なぜ強大国へ呼んで行かれましたか。実力を育てなければならぬから。エジプトを一度見なさいということでしょう。バビロン、ローマを見なさいということ。その中で福音を回復した Remnant を通して働きが起きたのです。そこで、今日のタイトルは、Remnant が勉強をすべきですが、あらかじめ整えることがあるのです。必ず記憶しなければなりません。それゆえ、今日、ダビデがあらかじめ育てるのです。この日以来、簡単に話せば契約を握った以来、その話でしょう。自分に与えられた契約を握った以来、主の霊が激しく下ったのです。それゆえ、みなさんが難しいと考えないで、あせって考えることもなく、ある日、契約を正確に握るようになるでしょう。すると、このことが起きます。

### □序論\_ RT7 「知ること」

Remnant7 人がみなそうしました。

#### 1. 創 41:38

ヨセフが契約を握った日から始まったのです。後ほど未信者も分かりました。その中で王も分かりました。パロ王が見て言ったことです。同じ話でしょう。これが、Remnant が今から整え始めなければなりません。

体験がなくても大丈夫です。答えがなくても大丈夫です。今から無条件にこの時間を持ってください。いつ持つのか、それも自由です。どれだけすべきなのか。それも自由です。一週間に一度してもかまいません。毎日すればより良いです。あるときは、生涯たった一度だけしたのにできます。それは分かりません。

ヨセフは初めから続けることができました。ダビデもそうしました。その前の、モーセの場合は、うまくできなくて、年取って働きが起きたのです。パウロもそうしました。それは分かりません。

#### 「知ること」

それゆえ、一番重要なことはなんでしょうか。知ることです。みなさんが、何をすべきかより「あっ!これが私たちに最も必要だね!」これをみなさんが知らなければなりません。すでに信じている Remnant であるために、知ることが重要です。

#### 2. 出 3:18-20

この日以来です。ホレブ山で霊的体験をしてからです。ですから、全く同じですね。

#### 3. I サム 3:1-19

I サムエル 3 章 1 節から 19 節を見ると、サムエルが一度この力を体験したのです。この日以来、主は彼のことは一言も地に落ちないようにされました。

ですから、他の人に尋ねる必要がありません。みなさんが直接、始めればよくて、人ごとに違います。私の場合は、長くかかりました。なぜか、教えてくれる人がいないから、聖書にあるのに、私に分からなかったからです。

ですから、みなさんは幸いです。「あっ!このようなことがあるのだ」単に教会に通っています。さらに、大人たちも「教会にきて熱心にすれば良い」こう思っているのです。そして、ある人は力がないのに「がんばって熱心にすれば良い」このように理解します。違います。この部分(序論)から知れば、来ます。

#### 4. I サム 16:13

ここに今すぐダビデが今、知ったのです。

#### 5. II 列 2:9-11

すると継続することも全く同じです。このときからです、「私に霊の二つの分け前をください」これから。ここに大部分の神学生たちは、他のことを今、追いかけて行ったのではないのでしょうか。

ところが、エリシャが「私はそれは必要ありません」このように話したわけではありません。ギルガル、エリコ、ベテルに出てきたとき「私はそれは必要ありません」このように話したわけではありません。どの程度、話しましたか。「主は生きておられ。私は決して…」そう言いました。「私はそれが不要ない」そう言いました。簡単に話せば、とても絶対的な話をしたのです。ですから、最後までついて行って、これを求めて祈りました。ですから、Remnant は、今から一生涯、この祝福を味わうのです。救われたから、さらに受けることはありません。すでにみなさんは神の子ども。子どもは二回もまた受けません。世の中のように、住民登録更新、このようなことはありません。ですから、この祝福だけしっかりと味わえば良いのです。

これを一日のうちに、どのようにするかが鍵です。これをどのように 24 するかが鍵です。これを実際に私の産業に学業にどのように移すかということが鍵です。度々してみるならば、そうなります。

#### 6. イザ 6:1-12、13

いったん、この祝福、御座の力の祝福を受けましょう。すると Remnant の話をします。

#### 7. 使 1:8

初代教会も見れば、イエス様がこう言われたではないですか。「他のことは心配するな」確かに言われました。「いまこそ、国が再興されますか」「そのような心配するな。ただ聖霊を受ければ力を受ける」証人になると、こう言われました。

今日、私たちが見る、これはダビデに関することです。Remnant のとき、少しだけ整えても良いのです。一度も人々がしないので、みなさんが一度しても、働きが起きます。

定刻、深い祈り、常時祈り

救われて、私はこれがすべてです。私はこれを持って定刻祈りもします。これを持って深い祈りもします。これを持ってすべての現場を置いて常時祈りもします。私はそうです。

ですから、他の人と率直にとっても合いません。私が耐えているのですが、対話もよくできなくて。対話するふりをするのであって、対話にならなくて。普通、教会で長老たちが悩んでいる話を聞いてみれば、私が見るとき、話にもならないことです。それでも、何か、どうしますか。心より大切だから聞くのであって、間違っているのです。Remnant がそのようになれば、みなさんは苦勞しながら未信者について行かなければなりません。

24、25、00

これが 24、25、00 になるべきです。終わるのです。ものすごい力を、世の中では得ることができない力を与えられました。

#### 口本論

この日以来、三つが起きます。私をセッティングするようになります。二つ目はなんでしょうか。上のことをセッティングするようになります。すごいですね。三つ目です。この祝福を味わっているのですが、学業もここから出てくるのです。隠されたことがあるでしょう。これをセッティングするのです。必ず記憶しなければなりません。むなしい苦勞せずに、必ず記憶しなければなりません。

私は最近、続けて見れば、メッセージにずっとついてきた人々がいるでしょう。信徒もそうで、メッセージをずっと聞く人がいるでしょう。私が私のことを話すのではなく、この中で神様のみことばをお手伝いしているのです。メッセージについて来ることができない人が多いのです。メッセージを聞き取れない人々が多いです。いつかわかるでしょうし、関係ないのですが、私と重要な仕事をする人々なのに聞き取れない人々が多いです。これが限界なのに、そのようなときであるほど、私たちの Remnant が今、契約をよく握らなければなりません。救われた者に最も大きい、一番最初に、最も最後の贈り物が何か、これ(序論)です。これを大人たちが見つけ出せなかったのですが、Remnant が見つけ出したのです。それゆえ、勝つのです。

もちろん、ガンの末期になって、もがきながら味わうことはできます。それはちょっと良くないでしょう。みなさんが、みことばで悟るべきで、あえてガンになって痛くなって悟る必要はないでしょう。その上に、悟るならば幸いですが、それは違うでしょう。みなさんが奴隷に行って、捕虜になって行って、このような形で悟ることができます。しかし、Remnant 7 人はこれを前にすでに悟ったのです。行って彼らを生かしたのです。これを祈りと言います。

すると、みなさんが時間を少し作って、深く入って、すべてを祈りで結びつければ、これ(定刻、深い、常時祈り、

24, 25, 00)ができます。ある日、みなさんが祈りの手帳を見ながら始めたりすると、このようになります。そのように見れば、私にここに対して幸せがきます。とても良いのです。深い祈りです。このようになるのです。以前は分からなかったのですが、勉強とつながります。以前は分からなかったのですが、現場に行って家につながります。それを常時祈りと言います。時間が決まっていなくて、これでしょう。すると、みなさんに24、25、永遠という答えがきます。

### 1. 私ーセッティング

#### 1) 創1:27

このときから、なんでしょう。これがセッティングされるのです。みなさんの中に、とても大きなことがあります。神のかたちが植えられているのです。

#### 2) 創2:7

ここに神様がみなさんに「いのちの息を吹き込んだ」こう言われました。

#### 3) ヘブ4:12

エデンの園をすでにのがしてしまっただけで、神様がみことばで、みなさんの霊とたましいとあらゆる事を骨髄を生かす働きが起きます。このセッティングがされます。私の中にあるのです。そして、みなさんの中に、とても素晴らしいことがあります。

これを3団体では霊的なことを分からないから、間違っただけです。何と話したかという「あなたの中にある潜在力を開発しなさい」このように言いました。そうしか言えないでしょう。潜在力ではありません。神のかたち。あなたの中にある無意識を開発させなさい、ではありません。神様がくださった、ものすごい生命力があります。

### 2. 上のことセッティング

このときからなんでしょう。上のことがセッティングされます。

#### 1) 御座

私はこのように(序論)だけするのに、このときから御座が働き始めるのです。

#### 2) 時空

このようになるから、時空が関係なくて。このような働きが起きるのです。

#### 3) 237

いよいよ、みなさんのタラントが237と合うようになっていきます。こうすれば成功できますか。できませんか。できるのです。

### 3. 隠されたことセッティングー空前絶後

このときから、みなさんに隠されたことが出てくるので、このときから本当に来るのが、みなさんの学業です。もし、みなさんが産業をするならば、みなさんの産業です。何をしても同じことです。空前絶後。誰も奪っていくことができません。これがみなさんにぴったりつながっていくのです。

#### 1) 詩78:70-72

羊飼いをするのに、空前絶後の答えが来ました。

#### 2) Iサム16:13

どのように、こういう事があるのでしょうか。王宮に入ったのに、空前絶後の答えがきました。賛美して演奏するのに、サウル王にある悪霊が離れてしまいました。

#### 3) Iサム17:1-47

お使いに行ってゴリヤテに勝つようになります。これがダビデの世界的な人生の始まりとなったのです。

Remnantが必ず、あらかじめ知らなければならないでしょう。そして、これをあらかじめ整えるのです。みなさんは救われたので、今から人の話は聞いても、気を遣わないで、この祝福を受けてください。みなさんの親、先生は、みな助けようとするのですが、正確な話ではありません。この答えでみなさんは始めてください。本当です。

私が多くの本を読んで人の話を聞いたのですが、できませんでした。ですから、私が心の底から落胆したのです。みなさんの年齢の時。そして揺れたのです。だれかに話をするべきで……世の中に出てみてください。これをしければならないか、あれをしなくてはならないか、このような形でしょう。そして、心配にもなるのです。「私はどのように生きればよいのか」ところで、先生や親や教会に行っても、言うことは全く同じです。答になりません。私には。誰かはこのようにしたし、誰かはこのようにしたというのに、私はそのようにならなくて……だまされます。本当です。

少し契約を握って祈り始めたのです。どれだけ祈りを捧げたとは思わなかったかという、祈りをこのようにすれば良いのか。このような形で始めたのです。そうするうちに、これを(定刻、深い、常時祈り、24, 25, 00)見たのです。それゆえ、これを見たとき、私に確信がぴったり来ました。確信がないみなさんに説明しようとしたら、どのように説明すれば良いだろうか、このような祈りをするのです。驚くべきことに、Remnant7人がこの確信があるのです。

それゆえ、みなさんが、この祝福を一番最初に味わわなければなりません。みなさんが、なんとなく勉強しているの

すが、これが空前絶後の答えできます。私は状態がこうだったから、その学校に来たのに、空前絶後の答えが待っています。

## □結論\_光

なぜでしょうか。みなさんを通して世界福音化しなければならぬから。暗やみに光を照らさなければならぬから。これをみなさんが必ず握らなければなりません。

### 創 1:3

創造の光。これではなければなりません。みなさんにこれが来ているのです。創造の光。私は以前には、たくさん集まるときはよく分からなかったのですが、コロナのためにたくさん集まれないのですが、ここに来てみれば、みなさんにとっても霊的な力があって Remnant も霊的な力があります。賛美、なんとなくすれば本当に力が抜けます。私たちの Remnant の賛美も生きています。「神様が蔚山に重要な時刻表を置いておられるのだな」

### イザ 60:1-2

いよいよ Remnant が起きます。起きよ。光を放て。創造の栄光の光。主の栄光があなたの上に輝いている。

### 1ペテ 2:9

完全に生かす征服者の光です。

苦勞する大人たちを、みなさんが生かさなければなりません。宗教家を生かさなければなりません。どれくらい大変でしょうか。今から、ただ信じられれば良いのです。なぜでしょうか。約束したことです。イエス様が最後にまた、約束されました。方法ではありません。信じれば良いのです。いつですか。Remnant のときに信じれば、必ずみなさんは世界を生かすほどの答えが来ます。これを信じないということです。

私から今、みなさんに会う前に伝道運動 10 年した記録がみないのです。なぜでしょうか。私はそれを普通に考えていました。それだけ私が愚かなのです。10 年間、飛行機にたくさん乗ったのですが、記録なく、単に乗っていました。10 年走ったら私が時間が足りなくて、秘書がついてから、チェックをしたのです。それが大韓航空、アジアナみな何百万マイルです。私とその祝福を知らずに初めにのがしたのです。

それゆえ、みなさんは、今から祈りの手帳にしても、どこにしても、みなさんの人生を記録してください。してみてください。単にしてみてください。祈って、みなさんの心に来る答えをメモしてください。してみてください。一週間に一度でも大丈夫で、毎日でもかまいません。そうでなければ、聖日だけでも良いのです。みなさんが聖日だけでも、礼拝しながら神様が私にくださる心と確信、考えがあります。記録してください。タイトルだけ記録してもよいのです。すると、ある日、みなさんに「本部のメッセージと、私たちの牧師先生がするメッセージと、私とぴったり合う」と感じることができるでしょう。そのときから、私がセッティングされるのです。これ少し信じてただけなのに、ある日、みなさんに二つ目のことがくるでしょう。現場に行くと、本当に答えが来ているでしょう。

ある Remnant は恥ずかしい告白をしました。友人と二人でアメリカでとても有名な最高の大学に試験を受けに行ったのですが、勉強ができる友人は落ちて、自分は通りました。友人に申し訳なくて、どうしようもなかったそうです。この友人が自分より勉強をはるかにできるということでした。誰でもできません。ところで、アメリカの指折り数える大学に行って、試験を受けるのに、その友人は落ちて Remnant は受かりました。とても申し訳なくて友人を慰めることもできないし、かと言ってあかしもできないし、このようだという事でした。理解できます。みなさんが、少し味わっていただけなのに、御座と時空、237 の答えが行ってみれば来ています。このみことばと祈りを少し味わっただけなのに、空前絶後の答えがきます。これを持って事業を始めなければなりません。未信者のように無鉄砲に始めようとするので、苦勞が多いのです。必ず Remnant はのがしてはいけません。世の中に出て行って事業をしたり、商売をしたり、職業を選択するときは、これが(空前絶後)が来ていてこそできるのです。Remnant は世の中に出て行く前までのがさずにこれを握らなければなりません。今、ダビデがこれを握ったのではないのでしょうか。このときから、事業も働きが起きるのです。そうでなければ、反対に一度話してみます。信徒の大部分が、人の話、人の顔色、人のことばでこれをのがします。そして、教会にきて単に礼拝をささげるときの祈りの他には祈りをよく分かりません。のがしますね。すると、常に私は苦しいです。これが(私セッティング)ならないから。現場に行くと負けます。耐えるだけでしょう。そして私の職業、学業、産業が世の中の人々を生かすことはできないのです。このような結果が出てきます。すると、どのように私が光でしょうか。それゆえ「あなたに光が来ているから起きて光を放ちなさい」こう言われたのでしょう。

Remnant は毎週 Remnant メッセージ出てくることで、ポイントをよく握らなければなりません。今日のポイントは、ほとんどの信者、未信者関係なく、これ(本論内容)なしに生きています。知れば簡単です。知る道に行くのは、簡単でしょう。分からないところに車を進めようとするなら大変です。車をどこに向けるべきか、ナビゲーションがないと考えてみてください。それゆえ、私は学校を卒業する前に、神学校を卒業する前に見つけました。ですから、世界福音化するのがとても幸せで気楽なのです。私たちの Remnant がのがさないように、主イエスの御名で祝福します。祈ります。

祈り

すべての問題の解決者であるイエス・キリストの恵みと私たちの神様の大きい愛と聖霊様の働きとが、すべての礼拝をささげる Remnant の上に、世界に散らされた Remnant の上に、今からとこしえまで、いつもともにありますように。  
アーメン